

平成27年度

全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

教 育 課 程 部 会

実施案内

主催 一般財団法人私学研修福祉会 協力 一般財団法人日本私学教育研究所  
後援 日本私立中学高等学校連合会

◆(研究のねらい)◆

## 私学の特色ある教育課程を目指して ～学習指導要領と大学入試の一体改革を考える～

昨年11月20日に文部科学大臣より中央教育審議会に「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」の諮問がなされ、12月4日には教育課程企画特別部会が設置され、本年1月から改訂の方向性の検討が始まり、2016年度を目途に答申が予定されている。また、12月22日には、中央教育審議会から「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」文部科学大臣へ答申が行われ、本年1月16日には、「高大接続改革実行プラン」が発表され、2月24日には「高大接続システム改革会議」が発足した。

諮問では、2022年度より年次進行にて改訂される高等学校学習指導要領が、答申では高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革が主眼となっている。今回は、新しい時代にふさわしい学習指導要領等の基本的な考え方、新たな教科・科目等の在り方、既存の教科・科目等の目標・内容の見直し等と、大学の個別選抜改革、新テストの導入、高等学校の教育内容、学習指導方法、評価の見直し等がキーワードにあげられており、教育課程の基準等の在り方について夏頃までに論点整理を行い、教科別の検討に引き継がれる予定である。また、高大接続システム改革会議においては、大学入学希望者学力テスト(仮称)と高等学校基礎学力テスト(仮称)、各大学の個別選抜の具体的な内容等が検討され、年内に最終報告がまとめられる予定である。

本年度の教育課程部会では、それらに焦点をあて、文部科学省からその詳細な内容や方向性・課題等をお話しいただく。

さらに、学習指導要領改訂の中でキーワードの一つでもあるアクティブ・ラーニングから Project Based Learning (PBL) を取り上げ、その効果や手法について、特定非営利活動法人日本 PBL 研究所の上杉賢士理事長の講演、実践事例として、かえつ有明中学高等学校での視察を行いながら考察していくこととする。

また、今回の答申等は、学習指導要領および大学入試に関して大きな改訂・改革となり、学校現場に大きな影響を与えることが予想されるため、私学としてどのような対応が必要となるかを考えていくという観点から、日本私立中学高等学校連合会および当研究所の対応を含めながら、当研究所平方邦行理事が報告を行い、さらに、分散会を設けて、参加の先生方による研究協議を通して、今後の方向性、対策について考えていく。

※ Problem Based Learning も「PBL」と言われており、学習者が中心となり、反省的反复作業を伴い実践される少人数グループでの教育手法で、「問題にもとづく学習」と呼ばれる。Project Based Learning は Problem Based Learning のうち、具体的な学習課題を立てて少人数グループでプロジェクトを完遂させる学習手法である。

◆会 期◆ 平成27年6月19日(金)・20日(土)

◆会 場◆ タイム24ビル 主会場：研修室203 東京都江東区青海2-4-32 電話03(5531)0024  
かえつ有明中学高等学校 東京都江東区東雲2-16-1

◆募集人員◆ 120名

◆参加対象◆ 理事長・校長・教頭・教務主任及び教育課程編成等担当教員

◆参加会費◆ 19,000円(昼食費(6月19日のみ)を含む。※宿泊費は含まず。)

※宿泊の斡旋はいたしませんので、ご手配はご自身でお願いします。

◆基本日程◆

	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		30	30		30	45	15		30
6月19日 (金)	受 付	開 会 式	講 演 I	講 演 II	昼 食	移 動	学校視察 学校紹介/授業視察/施設見学等		
6月20日 (土)		報 告	分 散 会	閉 会 式					

◆研修プログラム◆

1日目

講演 I

演題 「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、  
大学入学者選抜の一体的改革と学習指導要領改訂について～解説と今後の動向～」(仮)

講師 文部科学省初等中等教育局 局長 小松親次郎

講演 II

演題 「アクティブ・ラーニングの進化形としての PBL  
～アウトラインから実践例までを知る～」

講師 特定非営利活動法人日本PBL研究所 理事長 上杉賢士  
いづな学園 グリーン・ヒルズ小学校・中学校 校長

学校視察 「かえつ有明中学高等学校」

- ①挨拶・学校紹介
- ②授業視察、施設見学
- ③学校関係者との研究協議

学校視察スケジュール

時間	視察内容
12時45分	(タイム24ビル(主会場)より貸し切りバスにてかえつ有明中学高等学校へ)
13時10分	(かえつ有明中学高等学校 到着【1階カフェテリア集合】)
13時15分	挨拶・学校紹介 かえつ有明中学高等学校 校長 石川一郎
13時35分	授業視察 ◎8グループ(15名程度)に分かれて、5・6時限目の授業を視察します。 (5時限目2クラス、6時限目2クラスを約15分ずつ、4クラスを視察予定。)
15時15分	施設見学
15時45分	かえつ有明中学高等学校の先生方との研究協議(質疑応答・意見交換等)
16時25分	お礼のことば(教育課程専門委員長) 事務連絡
16時30分	(学校視察終了、かえつ有明中学高等学校にて解散)

2日目

報告

テーマ 「中高連・日私教研からの報告」

報告者 一般財団法人日本私学教育研究所 理事長 平方邦行  
文部科学省高大接続システム改革会議新テストワーキンググループ 委員  
工学院大学附属中学高等学校 校長

分散会 「私学の特色ある教育課程を目指して～学習指導要領と大学入試の一体改革を考える～」

- 参加いただいた先生方に6つのグループに分かれていただき、研究協議、情報交換を行っていただきます。
- 分散会での希望テーマを参加申込み書の所定欄にご記入ください。なお、進行をスムーズに行うために、グループ分けの参考にする場合がございます。

### ◆講師・指導員（順不同）◆

- 小松 親次郎（文部科学省初等中等教育局 局長）  
上杉 賢士（特定非営利活動法人日本PBL研究所 理事長／グリーン・ヒルズ小学校・中学校 校長）  
石川 一郎（かえつ有明中学高等学校 校長）  
吉田 晋（富士見丘中学高等学校 理事長・校長）  
平方 邦行（一般財団法人日本私学教育研究所 理事／文部科学省高大接続システム改革会議新テストワーキンググループ 委員  
／工学院大学附属中学高等学校 校長）

### ◆専門委員・客員研究員・指導員（順不同）◆

- 清水 哲雄（学校法人鷗友学園 常務理事）  
山本 与志春（学校法人青山学院 常務理事）  
北村 聡（京都外大西高等学校 校長）  
大多和 聡宏（開星中学高等学校 理事長・校長）  
助川 幸彦（学校法人村田学園 理事）  
川本 芳久（一般財団法人日本私学教育研究所 事務局長代行）

### 講師紹介

上杉 賢士（ウエスギケンシ）

1948年山梨県出身。1972年千葉大学教育学部を卒業。船橋市・千葉市小学校、千葉大学教育学部附属小学校で教員として16年間勤務。千葉市教育センター、千葉県総合教育センター、千葉市教育委員会指導課で11年半勤務した後、1999年に千葉大学大学院教育学研究科教授。2011年に同大学教育学部附属教育実践総合センター教授。現在は日本 PBL 研究所理事長、学校法人いづな学園学校長を務める。専門は、プロジェクト・ベース学習であり、日本における第一人者である。著書に「若い教師が元気の出る7つの提言—教育者としてのキャリアのつみ方」（2010年3月、明治図書出版）、「プロジェクト・ベース学習の実践ガイド—『総合的な学習』を支援する教師のスキル」（2010年10月、明治図書）、『『ルールの教育』を問い直す子どもの規範意識をどう育てるか』（2011年10月、金子書房）、「プロジェクト。ベース学習で育つ子どもたち～日米18人の学びの履歴」（2005年10月、学事出版）等

### 学校紹介

かえつ有明中学高等学校

1903年に嘉悦孝氏により、日本で最初の女子を対象とした商業学校として創立された。その後、名称を「私立女子商業学校」、「日本女子商業学校」、「嘉悦女子中学高等学校」、2006年に現在の「かえつ有明中学高等学校」と改称した。また2006年には校舎も千代田区富士見町から江東区東雲（有明キャンパス）に移転した。

同校の教育理念の基本精神である「怒るな働け」は創立者の言葉を説いたもので、現代的に具現化した「学際的な思考・実行力の獲得」「自己実現力の獲得」「確かな学力の獲得」の3つを教育目標として学習面に反映させている。

同校の教育は、新しい未来を創出する人を育て、来るべき社会に貢献できるリーダーの育成を最大の責務と考え、これからの社会で必要とされるクリティカルシンキング、プレゼンテーション、ファシリテーションを取り入れた学際的なプログラムに基づく、独自の教育を展開している。特色としては、共学だが、別学(授業は男女別)という新しい教育スタイルを取り入れ、中学校では、独自のプログラム「サイエンス」で、自ら問題を発見・解決し、伝える力を育て、高等学校では論理的思考力、表現力、リベラルアーツを身に付けさせるために、独自のカリキュラム「プロジェクト」、「ランゲージ・アーツ」、「文理融合カリキュラム」を実践している。

◆参加申込方法◆

1. 別紙「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、下記「申込先」にご郵送または FAX にてお送りください。お電話での申込は受け付けません。

◇申込締切日◇ 平成27年6月5日(金) 必着

※申し込みは先着順に受け付けますので募集人員をこえた場合は、期日前でも締め切らせていただくことがあります。

◇申 込 先◇

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階  
「一般財団法人 日本私学教育研究所 私立学校専門研修会係」宛  
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683  
ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>

2. 参加申込書受付後、「参加確認証」と「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」をお送りいたしますので、指定されたコンビニエンスストアで参加費(19,000円)をお振り込みください。なお、参加費等の領収書は「払込受領証」をもって代えさせていただきますので、大切に保管してください。

※申し込み後、2週間以内に上記の書類が届かない場合はお電話にてご確認ください。

◆参加申込後の注意◆

1. 「参加確認証」は当日受付にご提示ください。

2. 参加申込後のキャンセル・ご欠席については、FAX にて下記にご連絡ください。  
(FAX 送信後、こちらから確認の連絡がない場合は、必ずお電話にてご確認ください。  
参加費のご返金・キャンセル料等は下記にて取扱いますのでご了承ください。

6/15(月)午後3時までのご連絡	事務手数料1,000円を差し引いた参加費を返金
6/15(月)午後3時以降のご連絡 及び 無断欠席	参加費の返金はできません。研修会資料等の発送を以て代えさせていただきます。 ※参加費未払いの場合は、キャンセル料として全額(¥19,000)を申し受けますのでご注意ください。 ※天変地異や自然災害によるキャンセルの場合は、状況により対応いたしますので、ご相談ください。

◆個人情報の取扱について◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用いたします。

●傷害保険について

本研修期間中の参加者等の傷害保険には、加入いたしませんのでご承知おきください。

## 会場のご案内

- 初日の午後は、「タイム24ビル」から「かえつ有明中学高等学校」に貸し切りバスにて移動いたします。  
なお、初日終了後は、かえつ有明中学高等学校にて解散となります。(最寄り駅は案内図をご覧ください。)
- 2日目は「タイム24ビル」が会場となります。

## タイム24ビル



## アクセス

〔電車〕

- ゆりかもめ  
「テレコムセンター」駅下車徒歩約2分  
—所要時間—  
新橋→テレコムセンター 約18分  
豊洲→テレコムセンター 約12分
- りんかい線  
「東京テレポート」駅下車徒歩約18分  
—所要時間—  
新木場→東京テレポート 約7分  
大崎→東京テレポート 約11分



※駐車場の混雑や交通渋滞が予想されますので、自家用車等での来場はご遠慮下さい。

## かえつ有明中学高等学校



## アクセス

初日終了後、かえつ有明中高校から最寄駅まで

〔電車〕

- りんかい線「東雲」駅まで徒歩約8分  
—所要時間—  
新木場まで約3分  
大崎まで約16分
- 有楽町線「辰巳」駅まで徒歩約18分  
—所要時間—  
新木場まで約3分  
有楽町まで約10分
- ゆりかもめ「有明テニスの森」駅まで徒歩約25分  
—所要時間—  
豊洲まで約5分  
新橋まで約28分

※駐車場の混雑や交通渋滞が予想されますので、自家用車等での来場はご遠慮下さい。

**FAX番号 03-3222-1683**

平成27年度 全国私立中学高等学校  
**私立学校専門研修会・教育課程部会**  
**参加申込書**

平成27年\_\_月\_\_日

① 参加者氏名	(ふりがな) _____		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                 男                  女             </div>
② 学校名		③ 職名	
④ 学校住所	〒 _____ TEL ( ) _____ FAX ( ) _____		
※ 参加確認証を上記の参加者ご本人、または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先および受取人氏名をご記入ください。			
⑤ 参加者連絡先*	※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号・自宅電話番号等をご記入ください。		
⑥ 今後、当研究所の研修会等の案内のメール配信を希望する方は、右欄にメールアドレスをご記入下さい。			
⑦ アンケート 【分散会】分散会で協議・意見交換を希望するテーマがございましたら、下記にご記入ください。 (具体的に記入いただければ幸いです。)			
※分散会は2時間程度のため、本アンケートでご回答いただいた事項を取り上げることができない場合がございますので、予めご了承ください。また、本アンケートはグループ分けの参考にさせていただきます。			
⑧ 通信欄			

※郵送、FAXでお申し込みください。  
 ※複数名の参加の場合は、恐れ入りますが、本参加申込書をコピーしてご記入ください。

受付番号	
------	--